

Bのイメージ

ボーイズ

シャツは襟と色、
ズボンは折り目。

初めて会った人にも好感を
もたれる“装い”について、
そのポイントを
押さえておきましょう。

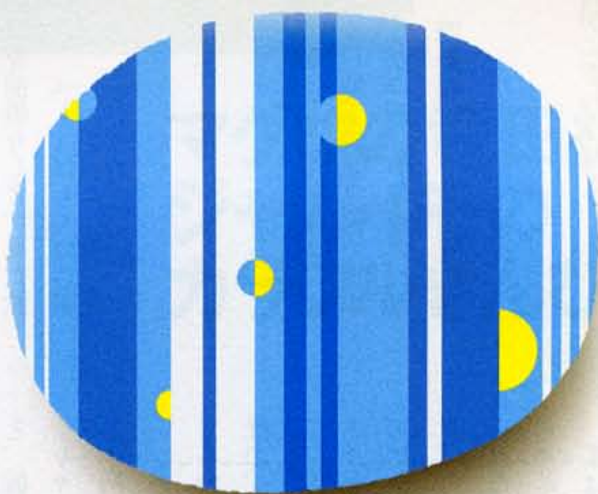
シャツの襟元はパリッとさせる

「第一印象は数秒で決まり、その印象が後々にまで影響する」といわれます。この第一印象を決めるのは、声でも、話し方でもなく、視覚的要素、つまり「見た目」が大きな割合を占めます。50代〜60代の方々は、仕事ばかりでなく、趣味やさまざまな活動を通して人間関係が広がる時期。だからこそ、第一印象を良くする装いのポイントを知ることが大切です。キーワードは「きちん」と感と「清潔感」の2つ。では、具体的にそのポイントを見ていきましょう。

まず、トップスは、ボタンダウンなど襟のあるシャツが基本になります。そのとき、チェックしたいのが、襟のハリ具合。若い頃には魅力的だった洗いざらしのナチュラル感も年齢を重ねると、締まりのない印象になります。

第一印象は、最初の数秒が勝負！ キーワードは、きちん」と感と清潔感

山川みどり 国際イメージコンサルタント



顔に近い襟元をパリッとさせてきちんと感を演出します。

好感度の高いブルーを味方にする

また、シャツは無地、柄はストライプまでを基本とします。薄めのブルーは、年齢を問わず、健康的でさわやかな印象を与え、好感度も高い色なのでおすすめです。ポロシャツならば、白や紺、黒など、はっきりしていないながら、自己主張が強すぎない色がいいでしょう。

う。逆に避けたほうがいいのは、ベージュやねずみ色などのくすんだ中間色。顔色がぼやけてしまい、若々しさのない印象を与えます。

トップスに対し、ボトムであるズボンは、折り目があるものは、それがしつかりついているかが、きちん」と感の分かれ目なので、はく前には必ずチェックしましょう。

アウトドア派の方のジーパンは、体型に関わらず、フィット感がポイントになります。洗濯をして、おしりやヒザが出ていない状態にしておくことが必要。くたびれたジーパンは、だらしなさにつながるので、はく前の洗濯で清潔感を与えることが必要条件です。

ちよつとした装いへの気づかいは、「おしゃれな人」「素敵な人」という第一印象を生み出します。ポイントを知ることさらに自信を持って、「また会いたい人」になってください。



やまかわ みどり ●プライムイメージ 代表。国際イメージコンサルタント協会(AICI) ニューヨーク支部会員。ファッション専門誌、女性誌編集者としてファッション、心理学などのページを担当。大手製薬会社や化粧品会社の教育ツールの制作などにも数多く携わる。アメリカでAICIの国際ライセンスを取得し、「ヘルス&ビューティ(H&B)・イメージコンサルティング」を提唱する「プライムイメージ」を設立。
プライムイメージ <http://www.primeimage.jp/>